



全日本民医連

第45回定期総会



2月24日(木)、25日(金)にオンラインで全日本民医連第45回定期総会が開催されました。代議員総数595名で、青森県民医連から18名の代議員が参加しました。運動方針、決算予算、特別決議が採択され、新役員が選出されました。



弘前会場



青森会場



八戸会場

増田会長より、前回総会運動方針で提起した①平和、地球環境、人権を守る運動を現場から地域へ、そして世界に、②健康格差の克服に挑む医療・介護の創造と社会保障制度の改善、③生活と人生に寄り添う切れ目のない医療・介護の体系と方略づくり、④高い倫理観と変革の視点を養う職員育成の前進を、コロナ禍の二年間実践し、今後もこれら方針のより一層の取り組みが求められている事が報告されました。

長野民医連より特養あずみの里裁判、東京民医連より乳腺外科医裁判について、全国的な支援を受けたことに深く感謝をすと述べられました。全体討論ではコロナ禍における事業所の感染防止や薬剤流通量不足への対応、離職による生活困難事例の報告等、コロナウイルスを起点とした発言が多くありました。全国の民医連職員の声を聴くことができ、日々の奮闘を共有すること

ができました。患者・利用者の困難事例や大企業優先・国民の生活を軽視した政治の在り方、昨今のロシアのウクライナ侵攻の報道を見るとますます社保平和運動の重要性を感ずります。社会保障削減政策には断固反対し、憲法九条改憲をさせないために、今後の社保平和運動への決意を新たにすることができました。
(あおもり健康企画本部／玉熊律郎)

2022年度

新入職医師紹介



今年度も新たな医師が入職されました。みなさんより自己紹介や目標などを伺いましたのでご紹介いたします。

健生病院 研修医



あおき めい
青木 芽
青森県青森市出身

はじめまして。四月から初期研修医としてお世話になる青木芽と申します。地域の人のための医療を行っている健生病院で研修を行いたいという、奨学生のおかげでの思いが実現し非常に嬉しく思っております。患者さんの心に寄り添った医療を行えるような医療者になるため、また、地域医療を担う一人として微力ながらお役に立てるよう、日々精進していききたいと思います。これからよろしくお願いたします。

健生病院 研修医



いしやま みさき
石山 美咲
岩手県滝沢市出身

はじめまして。四月から初期研修医としてお世話になっております、石山美咲と申します。大学生の間、地元の方や関係者の皆さまからたくさん学びを得た弘前で、医師としてのスタートを切れることを嬉しく思っております。医療者としても社会人としてもまだまだ未熟ですが、皆さまのお力添えのもと一歩ずつ着実に歩みを進めていきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

健生病院 研修医



かんざき ふうや
神崎 風弥
埼玉県所沢市出身

お初にお目にかかります。四月から初期研修医として健生病院で働くことになりました、神崎と申します。高校まで埼玉県で育ち、弘前大学入学を機に青森に参りました。弘前の健康を守る一助となれるよう、精一杯頑張ります。また、私は青森県の出身ではないため、津軽弁に少し戸惑うこともあるかと思いますが、この地域の方々の生活に寄り添えるよう努力して参りますので、よろしくお願いたします。

健生病院 研修医



ささき あき
佐々木有貴
青森県弘前市出身

はじめまして。四月から健生病院で初期研修医として入職させていただきました、佐々木有貴と申します。私は高校卒業後長らく弘前を離れていたため、帰省の度に弘前の魅力により一層強く感じてきました。そのため、私の出身地である弘前に少しでも恩返しをしたいと思い、地域に根差した医療を行っていた健生病院を志望しました。未熟者ですが、成長できるよう一生懸命頑張ります。よろしくお願いたします。

健生病院 研修医



しまなか たくや
嶋中 拓弥
青森県青森市出身

初めまして。初期研修医の嶋中拓弥と申します。青森市の新城という地域の出身で、古くからの街並みに新青森駅など新しい建物も混在する、新旧入り混じる環境下で育ちました。自分が弘前市に来たのは七年前。地域が一体となった雰囲気や人々の温かさに肌で触れ、将来医師としてこの弘前市に貢献したい強い思いから健生病院を志願させて頂きました。医師、そして人間として日々精進して参りますので、宜しくお願致します。

健生病院 研修医



しろと れん
白戸 蓮
青森県八戸市出身

どうも。初めまして。健生病院研修医一年目の白戸蓮と申します。

出身は八戸市で、大学に入るまで弘前には来たことがありませんでしたが、大学時代を弘前で過ごすうちに、弘前を第二のふるさとのように感じています。

そんなわけで、私は「あおもり」が大好きです。これから死にゆく人が「あおもりに住んでいてよかった」、生まれてくる子が「あおもりに生まれてよかった」と思えるよう、医師として貢献して参ります。

健生病院 研修医



たかはし あみ
高橋 亜実
岩手県滝沢市出身

こんにちは。この春から初期研修医になりました、高橋亜実と申します。地元は岩手県の、盛岡の隣にある滝沢市というところです。これから医師として、健生病院の職員の皆さんと連携し、すべての人が自分らしく生きるためのお手伝いができればと思っています。また一市民として、地域の方々とさまざまな形で交流できたらと思っていますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

健生病院 研修医



ながお まりか
長尾万里華
青森県弘前市出身

四月から初期研修医として入職いたしました、長尾万里華と申します。私は四季に恵まれたこの弘前の地で生まれ育ちました。地元弘前で医師になることを目指し、そしてそれが現実となったことに喜びを感じるとともに使命感も感じております。経験不足等のため至らない点も多々あるかと思いますが、少しでも早く地域の皆様に信頼いただける医師となれますよう、日々精進していく所存です。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

健生病院 研修医



むらた ひかり
村田 耀
青森県弘前市出身

はじめまして。四月からお世話になります。村田耀と申します。

わたしは健生病院で生まれ、ずっと弘前で過ごしてきました。この地で、健生病院で医療者として働けることを非常にありがたく思っています。まだまだ未熟者ですが、少しでも早く地域医療に貢献できるよう、日々努力していきたいと思ひます。健生病院の掲げる無差別・平等の医療を胸に、患者さんの心に寄り添える医師になりたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

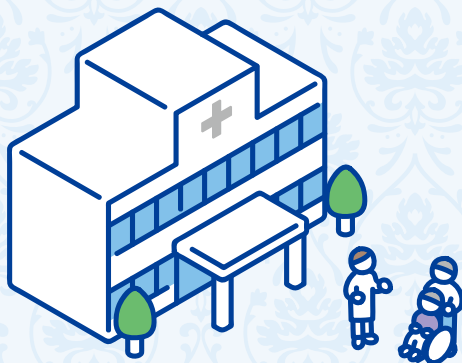
健生病院 研修医



わだ たかゆき
和田 尊行
青森県三戸町出身

こんにちは。初期研修医としてお世話になります、和田尊行です。一回り遅れてのスタートになりますが、同期の皆さんに負けないフレッシュな気持ちで頑張ります。

健生病院には一年生の頃から見学を受け入れて頂き、様々な勉強をさせてもらいました。今後は学生の立場から初期研修医となり、いよいよ青森県の医療に貢献できることに、希望と不安とで半々ですが、全力で研鑽を積んでいきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。



新入職員代表者紹介



健生病院 診療事務課

さいとう ひかる
齋藤 燿

4月に入職しました、齋藤燿です。津軽保健生活協同組合で働き、地元で貢献できると思うととても嬉しいです。日々学習し、自分にできることを増やしながら組合員の皆様や職員のお役に立ちたいなと思っています。



藤代薬局

みずき けいすけ
水木 啓介

4月から株式会社ファルマの薬剤師となりました。私はどちらかといえば不器用で、物事を上手くこなせるようになるまで時間がかかる方ですが、『皆から頼りにされる薬剤師』を目指して、日々自己研鑽に励む所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



大野あけぼの薬局

ひらお さとる
平尾 悟

薬局だけではなく在宅医療の場でも活躍できるような薬剤師になりたいと思い、一般社団法人あおり健康企画に入社しました。たくさんの経験を積んで、地域医療を支える薬剤師になれるよう頑張ります。宜しくお願い致します。



自立訓練事業所 ほのぼの寮

しぶたに ちか
渋谷 知加

ほのぼの寮の生活支援員として入職しました、渋谷知加です。仕事をしている中で大切にしていることは、その人の強みに着目して関わっていくことです。強みを伸ばし、自分も成長できるよう、日々の気づきや感じたことを大切にしていきたいと思っています。



社会福祉法人・花

あびこ えみこ
安彦 恵美子

社会福祉に関して未経験である私を仲間として受け入れ、又やりがいのある仕事へと導いてくださった先輩方に感謝しております。自分らしい生き方が出来る様に共に考え、支援すると有る法人の理念を忠実に行い、利用者へのサービスの資質向上に努めている先輩方を目標に成長して参りたいと思います。宜しくお願いいたします。

青森保健生活協同組合 40名

- 看護師 20名
- 介護福祉士 2名
- 理学療法士 5名
- 作業療法士 2名
- 言語聴覚士 1名
- 診療放射線技師 2名
- 臨床検査技師 2名
- 臨床検査技師 1名
- 薬剤師 1名
- 事務 6名



コロナ禍のなかでの受験新歓

各法人からの協力を得て
取り組んだ医学対大運動

新型コロナウイルス感染症が拡大を続けるなか、今年度も受験新歓の時期を迎えました。医学対大運動にも様々な制限がかかる状況でしたが、今できることを精一杯やりました。

二月二十五日(金)、二月二十六日(土)の弘前大学一般入試に合わせて医学対大運動に取り組みました。
新型コロナウイルス感染症対策として今回も行政からの宣伝自粛通知が出されたことを受けて、宣伝物の手渡しや対話アンケートに代わる活動を行いました。
宣伝物は設置した机の上に配置して受験生が自由に取れるようにし、我々は受験生へのメッセージを掲げたパ



2月25日 出発前



2月26日 宣伝場所での様子

ネルを手にしながらか、受験生への応援など声掛けに力を入れました。二日間で宣伝物は百三十四部配布することができました。
このことから二十五日の受験生相談会に複数の参加者が現れ、さらにその後、奨学金説明を希望する問い合わせにも繋がりました。
当日は各法人から多くの助力をいただきました。通常の業務に加え、コロナ禍により多忙を極めている状況だったと思います。本当にありがとうございました。雨風が激しい場面もありましたが、来年はきっと晴れると思うのでまたご協力のほどよろしく願います。
この大運動で得られたつながりを大事にし、今後も医学対活動を前進させていきたいと思えます。(青森民医連 医師医学学生課/宮腰和美)

県連薬剤師委員会主催

2021年度

薬剤師中期研修・拡大薬剤師管理者研修 開催

3月12日(土) 13:30~15:00にオンラインで開催し、今回は参加枠を広げたことにより、1年目の薬剤師2名を含む48名が参加しました。講師に生協さくら病院 小枝淳一先生を迎え「エンドオブライフケアと人生会議(ACP)」について学びました。

小枝先生より、まずは「エンドオブライフケア」や「リビングウィル」といった緩和領域の基礎知識を説明いただき、そこから症例や著名人の例を提示いただくといった流れで、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)の意義について教えていただきました。

「人生会議(ACP)」は、普段の生活の中から最も遠い所にあると言っても過言では無いものの、業務を行っていくうえで避けては通れない場面も多々あり、また生きていく以上、身の回りが自分自身かで必ずどこかで向き合うことがある「死」というイベントに対して、真摯に向き合う

ことができた時間となりました。

小枝先生のお話は学術的な視点だけではなく、長い諸活動の中で体験した実例や知見を多分に絡ませながら、写真や表といった感覚的に分かりやすいものも交えた講演でした。著名人の実例も提示いただきながら、参加者が飽きることなく、一同が有意義な時間を過ごすことができました。今回頂いた演題は明確な答えが中々導かれないものであったので、ぜひまたの機会にディスカッションやグループワークなどでより理解を深めたいと思いました。

(県連薬剤師育成小委員会 健生病院/白井俊也)



弘前

ウクライナ侵略への抗議運動

医療や介護に携わる者としてできること

株式会社ファルマでは各事業所でロシアによるウクライナ侵略を抗議するスタンディングを行っています。今回はファルマ弘前薬局のピースアピールの様子を紹介します。

三月二十四日（木）ファルマ弘前薬局でロシアによるウクライナ侵略を抗議するピースアピールを行いました。

ロシアによるウクライナ侵略は国連憲章にも国際法にも反する「軍事力行使による他国の領土への侵略」であり、侵略行為そのものです。ロシア軍はウクライナ侵略直後八十六年に大事故があったチェルノブイリ原発を占領しました。また、南ウクライナ原発に接近、ザポリージャ原発には砲撃まで行っています。電力の五割以上を原発に頼るウクライナで原発を占領されると電力供給を人質に取られることを示しており、攻撃による放射能漏れの脅威とも隣り合わせです。侵攻直後から原発への攻撃、支配下に置こうとしているロシアの行動を見るとプーチン大統領の「ロシアは最強の核保有国である」と発言もただの脅しとは思えません。

戦争は命を奪うだけでなく、健康な体や精神、文化的な生活を破壊し、貧困を大規模に生み出す最も愚かな行為です。私たちは医療や介護に携わる者として、命と健康を守り、一切の戦争政策に反対し、核兵器を失くす立場からロシア軍の侵攻に強く抗議していきます。

（ファルマ弘前薬局／神千穂美）



津軽保健生協本部の皆様と一緒に



弘前調剤センター前にて



ファルマ弘前薬局前スタンディング

青森

ウクライナ緊急支援募金と街宣での訴え

二〇二二年二月二十四日、ロシアによるウクライナに対する軍事侵攻が始まり、多くの尊い命が犠牲になっています。武力行為はいかなる理由であっても、国際間の紛争の解決にならず、今回の軍事侵攻は武力行使を禁じる国際連合憲章に対する重大な違反です。ウクライナの国民の生命および安全に対する権利を深刻に侵害するものです。

青森保健生活協同組合では、この軍事侵攻において最も脆弱な立場にあるウクライナの子どもたちとその家族への医療・保健物資や水の提供、子どもの保護やケア、教育支援などを目的とした「ウクライナ緊急支援募金」を行っています。

また、五月三日に行われた「5.3 憲法記念日 青森市民集会」への参加や早朝街宣や十九日街宣において、ロシアによる軍事侵攻の反対や日本国憲法九条の改憲反対を訴えています。今後も引き続き私たちの手で平和を守り抜くために一人一人の声を届けていきます。

（青森保健生活協同組合 組織部／福士 学）



八戸

ロシアのウクライナ侵略に抗議するスタンディング 命が最優先される世界を

三月三十一日（木）、八戸市の類家コープ店前で二十二名が抗議行動に参加

三月三十一日（木）八戸市の類家コープ店前の交差点において、組合員・職員合わせて二十二名がロシアのウクライナ侵略に対する抗議のスタンディング行動に参加しました。それまでの温かい陽気から一転して、冬に逆戻りしたような寒空の下、横断幕やパネルを掲げて道行く人々や昼食時で列をなす車の中の人々に戦争反対、ロシアのウクライナからの撤退を呼びかけました。ロシア軍によりウクライナ市民が多数なくなっていることで戦争の悲惨さが浮き彫りとなって、戦争は悲しみしか生まないこと、命を大切にできる世界はいつ来るのか、命が最優先される世界の実現のために抗議行動は続けていかなくてはならないことを口々に話し合いながら、手がかじかむまで続けました。

（生協ヘルパーステーション／小松聖子）



ウクライナ街宣



ウクライナ街宣

憲法学習を推進

7月に予定される参議院選挙で改憲勢力に2/3以上の議席を与えないことを目的として、青森民医連では3/31理事会で「改憲発議を許さない、憲法闘争本部」設置を確認し、4/13に第1回目の闘争本部会議を開催しました。本部長に田代県連会長を据えて各法人より副本部長や闘争本部員を選出し、体制を確認しました。活動内容としては①署名集約②ニュースの発行③学習会の開催、以上を主な活動内容として取り組むこととしました。署名数の目標は青森民医連全体で3万筆を目標としました。ウクライナ情勢を契機に核共有論や憲法9条改正推進論など、平和と安全に対する様々な意見があふれるようになってきました。しかし、軍事力には軍事力で対応するとの考えは戦後日本が貫いてきた平和国家の歩みを否定するだけでなく、アジア太平洋地域にも緊張をもたらし、更なる軍拡競争に突き進むことにつながりかねません。改憲阻止への最大の機会でもある参議院選挙で改憲阻止を果たすためにも、署名活動へ最大限のご協力をお願いします。

(県連事務局次長/下舘大史)



No.1 2022年04月15日
青森県民連立医師会
青森県民連立医師会
青森県民連立医師会
青森県民連立医師会

憲法闘争本部ニュース

青森民医連 憲法改憲を許さない闘争本部設置完了!
憲法をまもり、いのち・くらし・平和を守ろう

4/13(水)第一回闘争本部会議が開催され、右の通り体制が確認されました。
確認内容は以下の通りです。

| | |
|------------------------------------|-----------------------------|
| ① 署名目標数 (青森民医連全体で3万筆 職員1名10筆目標) | 本部長 田代県連会長 |
| ② 署名集約体制の確認 (毎週集約) | 副本部長 津軽保健:村上専務、青森保健:宮本専務 |
| ③ 県連ニュースの発行 (隔週発行) | 事務局次長 佐藤県連事務局次長 |
| ④ 憲法学習会開催 | 事務局次長 下舘連事務局長次長 |
| ⑤ 各法人・事業所で闘争本部機能をつくり、方針と計画を立てる | 本部員 各法人代表 柳谷社保委員長 角田反核平和委員長 |

ファルマや津軽保健ではすでに闘争本部を設置しました。各事業所も急ぎ設置し、推進体制を作りましょう。
署名・学習・宣伝のセットは各法人へ届いています。(※宣伝グッズは4月下旬到着予定です)
どんどん活用して改憲阻止を訴えましょう! **6月末までに目標3万筆突破しよう!**

署名グッズ

宣伝グッズ

学習リーフ

各法人・事業所の取り組みなど、県連までお寄せください。県連内で共有していきます。

★次回ニュースは「9条に自衛隊が書き込まれるとどうなるの?」を田代本部長がわかりやすく解説します。こうご期待!

2021年度 平和社保委員会主催 社会保障学校

「介護保険制度と今後の動向について」

～いまと未来を
考えるつどい～



八戸
社保学校



三月三十一日、八戸医療生協本部で社会保障学校が開催され十九人が参加しました。講師には生協居宅介護支援事業所の瀬川所長を迎え「介護保険制度と今後の動向について」をテーマに講演いただき複雑でわかりにくい介護保険制度の歴史からはじまり介護サービス利用までの流れや八戸市における総合支援事業の特徴など改めて学習しました。また、昨年八月の補足給付の見直しが実施に移され補足給付からの除外や引上げによって全国で二十七万人の負担が増え施設への入所、短期入所サービスの利用に様々な影響が生じている事も学習の中でふれ参加者からは驚きの声があがっていました。コロナ禍のため短時間での社会保障学校となりましたが、こうした介護保険制度の現状を打開する展望を探る事ができる有意義な学習会となりました。

(組員活動部/木村儀弘)

県連事務局 人事往来

一生懸命がんばります。

着任 つしま やすふみ
対馬 康文

(社会福祉法人 虹
⇒青森事務所)



あなたと民医連をつなぐ月刊誌

いつでも元気

MIN-IREN

2022 5月号 380円 好評発売中

戦争をなくすために

「けんこう教室」 認知症はよくなりますヨ(下)

「敵基地攻撃能力」とは

うちでも元気 体操&脳トレ

まぢのチカラ 鹿児島県龍郷町

食と健康 食事で免疫機能回復

発行=青森健康医療研究所 〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター6階 電話 03(5842)5656 FAX 03(5842)5657

うちの メコッコ

vol. 67

♥ name 三浦 和旺くん
(みうら おお)

♥ age 11ヵ月

昨年、我が家に第三子が生まれ、奥さんと入れ違いで育児休暇を5ヵ月間取得させていただきました。休暇中は



料理以外の家事全般を行っていました。それには理由があり、料理は何度か作ったことはあるのですが、子どもたちの口に合わなかったのか食べ



てもらえず、『今はお腹空いてない』と長女次女に気を使わせてしまった経緯がありそれ以外を担当していました。なかなかショックでしたが子どもたちの成長も垣間見れたので良しとします(^^)

朝6:00から子どもたちのおむつ交換や身仕度、保育園送迎。第三子の長男にミルクを飲ませ、寝息が聞こえベッドに横にすると泣く、の繰り返し。眠ったのを確認したら、静かに自分の食事を摂る、トイレも済ませておく、子どもたちのお風呂担当、の生活でした。大変でしたがずっとこの生活が続くわけではないので今の貴重な体験を楽しめるようになりました。育児はオモシロい!

休暇中、現場のフォローをしてくれた仲間たちに感謝します。

(ヘルパーステーションはるかぜ 三浦温志)

私の三つ星★★★★

我が家の愛猫



我が家の子供たちも大人になりそれぞれの時間を過ごすようになった頃、リンゴ畑で生まれた子猫をもらい受けました。名前は『マル』と名付け5年後食欲旺盛な7キロの大型猫に育ちました。みんなが外から帰ると「ただいま、マル」が第一声です。小さな子供が増えたように居間が賑やかな場所になりました。又、新型コロナウイルスの感染予防対策で休日の外出も思うように出来ず、ストレスを抱えた4人の大人が癒しを求めてマルの争奪戦です。膝に乗せてふわふわの毛を撫でたり、肉球を触ると癒されます。誰かが何となく元気がなさそうに見えてもマルとじゃれてるうちに明るい表情に変わっていきます。昼寝をしたいのに怒らずに家族に付き合い笑顔にしてくれる大役を果たしています。ペットと暮らす癒しの生活が私の三つ星です。

(社会福祉法人・花

／佐藤富美子)



5月 2022年5月 第25回理事会報告

>> 全日本民医連理事会報告関係

>> 決裁事項

医学部志望高校生奨学生申請

第45期全日本民医連 部員・委員の委嘱要請(第2次)

2020・21年度決算、2021年度下期監査報告

2022年度 奨学生基金、初期研修医人件費、既卒対策費の提案
既卒医師採用に伴う紹介料負担の提案

>> 協議事項

青森民医連第56回定期総会関連

改憲発議を許さない!闘争本部報告

全日本民医連総会方針学習月間の取り組みについて

新型コロナウイルス対応について

>> 各種委員会

入職3年目研修開催要項

2021年度薬剤師中期研修・拡大薬剤師管理者研修

各種委員会報告・署名到達

>> 報告事項

共闘関係春の看護介護ウエーブ

2021年度決算調査

>> 会務報告/各委員会・医師委員会報告